

2021年6月 キューバ情勢

【概況】

1 内政

- (1) 閣僚評議会の開催
- (2) 米ドル現金による預金の一時停止
- (3) 国家評議会の開催
- (4) 人民権力全国議会第9立法期第7回通常会期の発表

2 外交

- (1) Naledi Pandor 南アフリカ外務協力大臣とのテレビ会談
- (2) キューバ・トルコ外務省間政策対話の開催
- (3) カブリス副首相のフランス訪問
- (4) Themistocles Demiris ギリシャ外務省官房長とのテレビ会談
- (5) Mutahi Kagwe ケニア保健大臣の訪問
- (6) EU議会における決議に対する非難
- (7) カブリス副首相のベネズエラ訪問
- (8) 第14回キューバ・メキシコ移民・領事ワーキング・グループ会合の開催
- (9) キューバ・スペイン外務省間政策対話の開催
- (10) 「米国の対キューバ経済制裁終了の必要性」決議採択
- (11) ロドリゲス外務大臣のベネズエラ訪問
- (12) キューバ・チェコ外務省間政策対話の開催

3 新型コロナウイルス

- (1) 新型コロナウイルス感染状況等（※6月30日23：59時点、保健省発表）
- (2) キューバにおけるワクチン開発
- (3) 「地域的感染段階（Fase de Transmision comunitaria）」への引き上げ

【本文】

1 内政

(1) 閣僚評議会の開催

1日、閣僚評議会が開催され、経済における主要形態（公社、組合、中小企業、自営業）、経済情勢、雇用、社会保障、干ばつの影響等について議論された。

(2) 米ドル現金による預金の一時停止

10日、中央銀行は、キューバにある銀行において米ドル現金による預金を21日から

一時停止とする決定を行った。同決定により、米ドル現金による預金は停止されるが、現在保有している米ドル建て口座の残高には影響は無く、また、同口座からの送金も引き続き可能であるほか、米ドルではないユーロ等の外貨は引き続き預金することが可能となっている。

（３）国家評議会の開催

１４日、ラソ人民権力全国議会兼国家評議会議長の下で国家評議会が開催され、内務省の機能、文化省の機能、選挙法違反、通貨統合に関する４つの政令が採択された。

（４）人民権力全国議会第９立法期第７回通常会期の発表

２４日、共産党機関紙「グランマ」に、人民権力全国議会第９立法期第７回通常会期が７月１４日９：００に招集される旨発表された。

２ 外交

（１）Naledi Pandor 南アフリカ外務協力大臣とのテレビ会談

３日、ロドリゲス外務大臣は、Naledi Pandor 南アフリカ外務協力大臣とテレビ会談を行った。両外相は、去る５月１１日に外交関係樹立２７周年を迎えた二国間関係が最良の状況にあることを強調するとともに、両国の協力関係を拡大・多様化する意志を再確認した。

（２）キューバ・トルコ外務省間政策対話の開催

４日、キューバ・トルコ外務省間政策対話がテレビ会議方式で開催された。キューバ側代表はエミリオ・ロサダ外務省二国間問題局長が、トルコ側代表は Zeki Levent Gumrukcu 外務省米州二国間政策局長が、それぞれ務めた。両者は、政策対話を継続して強化する意思を再確認するとともに、２０２２年の外交関係樹立７０周年に向けてスポーツ、文化、保健及び教育分野での関係を深化させることへの関心を表明した。

（３）カブリス副首相のフランス訪問

７日、リカルド・カブリス副首相はフランスを訪問し、エマニュエル・ボン大統領外交顧問と会談した。両者は、良好な二国間関係を再確認するとともに、２０１６年に採択された二国間経済アジェンダ及び経済・貿易委員会という制度の有用性・有効性について強調した。また、８日、カブリス副首相は、フランス・キューバ経済・貿易委員会共同議長でもあるフランク・リーステール外国貿易担当閣外大臣及びエマニュエル・ムーラン・フランス経済財務省国庫総局国際部長兼パリクラブ議長と会談した。さらに、１１日、カブリス副首相は、レミー・リウ・フランス開発庁（ＡＦＤ）総裁と会談したほか、アレクサンドル・リカール・ペルノ・リカール・グループ総裁やティエリー・ブランディニエール・インヴィヴィオ社社長を始めとする、キューバで貿易や投資に携わる企業関係者と会

談した。

(4) Themistocles Demiris ギリシャ外務省官房長とのテレビ会談

8日、アナヤンシ・ロドリゲス外務次官は、Themistocles Demiris ギリシャ外務省官房長とテレビ会談を行った。両者は、二国間関係について意見交換するとともに、政治、経済及び文化関係を引き続き強化する必要性について一致した。

(5) Mutahi Kagwe ケニア保健大臣の訪問

8日、ホセ・ポルタル保健大臣とキューバを訪問中の Mutahi Kagwe ケニア保健大臣は、2つの文書への署名を行った。1つは2018年4月25日に署名された両保健省間の医療サービス提供に関する協力合意を延長するための文書で、もう1つは統合医療を専門とするケニア医学生の人材育成に関する合意を3年間延長する補完合意であった。また、9日、ディアスカネル大統領は、Kagwe 保健大臣の表敬を受け、両者は良好な二国間関係を強調するとともに、前日に署名された合意に祝意を表した。

(6) EU議会における決議に対する非難

10日、人民権力全国議会（ANPP）国際関係委員会は、EU議会にて採択されたキューバの人権及び政治情勢に関する決議を非難する宣言を発表した。同宣言は、EU議会が採択した虚偽かつ干渉主義の決議は同議会の信用を失墜させ、キューバへの二重基準を反映したものであり、協力や対話を求める意図は全く無く、自由で独立した主権国家であるキューバへの敬意が微塵も感じられないとして激しく非難した。

(7) カブリサス副首相のベネズエラ訪問

17日、リカルド・カブリサス副首相はベネズエラを訪問し、タレク・エル・アイサミ石油大臣と会談したほか、同会談に先立ち、カルロス・アルバラド保健大臣、ウィルマル・カストロ農業生産性・土地大臣、ネストル・レベロル電力大臣及びアスドウルバル・チャベス・ベネズエラ石油公社（PDVSA）総裁とそれぞれ会談した。また、22日、カブリサス副首相はデルシー・ロドリゲス副大統領と会談した。両政府委員会のそれぞれ委員長を務める両者は、キューバ・ベネズエラ統合協力合意に基づく取り組みを確認し、両国の関心分野における様々な協力案件を協議した。

(8) 第14回キューバ・メキシコ移民・領事ワーキング・グループ会合の開催

17日、第14回キューバ・メキシコ移民・領事ワーキング・グループ会合がテレビ会議方式で開催された。キューバ側代表はヘラルド・ペニャルベル外務次官が、メキシコ側はマキシミリアーノ・レジェス外務次官が、それぞれ務めた。同会合では、両国間の移民の流れについて分析されるとともに、人身売買や不法移民対応分野における協力について

話し合われた。

(9) キューバ・スペイン外務省間政策対話の開催

21日、キューバ・スペイン外務省間政策対話がハバナにおいて開催された。キューバ側代表はエミリオ・ロサダ外務省二国間問題局長が、スペイン側代表はラファエル・ガラソン外務EU協力省イベロアメリカ・カリブ局長が、それぞれ務めた。両者は、両国の良好な関係を強調するとともに、経済、貿易、金融及び協力関係を引き続き強化する意志を再確認した。

(10) 「米国の対キューバ経済制裁終了の必要性」決議採択

23日、第75回国連総会における「米国の対キューバ経済制裁終了の必要性」決議が賛成184、反対2、棄権3で採択された。同採択にあたり、ロドリゲス外務大臣が米国を訪問し、国連総会に出席した。

(11) ロドリゲス外務大臣のベネズエラ訪問

24日、ロドリゲス外務大臣はベネズエラを訪問し、第19回米州ボリバル同盟人民貿易協定（ALBA-TCP）首脳会議に出席した。キューバはベネズエラとともに、2004年12月14日に創設されたALBAの創設国の1つである。

(12) キューバ・チェコ外務省間政策対話の開催

29日、キューバ・チェコ外務省間政策対話がテレビ会議方式で開催された。キューバ側代表はアナヤンシ・ロドリゲス外務次官、チェコ側代表はMartin Tlapa 外務次官が、それぞれ務めた。両者は、両国の歴史的な関係を強調するとともに、共通関心分野における二国間関係をさらに強化するため、経済・貿易関係、協力及び政策対話拡大について協議した。

3 新型コロナウイルス

(1) 新型コロナウイルス感染状況等（※6月30日23：59時点、保健省発表）

ア 感染者累計：193,945名

イ 死亡者数：1,302名

ウ 退院者数：176,030名

エ 自国帰国者数：54名

オ 国外搬送者数：2名

カ 入院中：16,557名（うち、危篤77名、重篤107名）

（２）キューバにおけるワクチン開発

ア ワクチン効果の発表

１９日、ディアスカネル大統領はフィンライ・ワクチン研究所（ＩＦＶ）を訪問し、ワクチン開発者を激励した。同研究所が開発している「ソベラナ２」は２回の接種で６２％の有効性があることが示された。３回目として「ソベラナ・プラス」を接種することでさらに高い有効性が示されることが期待されている。

また、２１日、ディアスカネル大統領は遺伝子工学バイオテクノロジーセンター（ＣＩＧＢ）を訪問し、ワクチン開発者を激励した。同センターが開発している「アブダラ」は３回の接種で９２．２８％の有効性があることが示された。

イ ベネズエラへの新型コロナ・ワクチン送付

２４日、キューバは、遺伝子工学バイオテクノロジーセンター（ＣＩＧＢ）製の新型コロナ・ワクチン「アブダラ」の第１ロットを送付した。ダゴベルト・ロドリゲス駐ベネズエラ大使は、「我々は国民の健康のための闘いを継続しており、二国間関係のさらなる緊密化に取り組む深い政治的な意志を有している」と話した。一方、デルシー・ロドリゲス・ベネズエラ副大統領は、「このワクチンは、ベネズエラにおけるワクチン接種計画の中で、免疫化プロセスに組み込まれる。既に１千２百万回分の「アブダラ」を受け取るための合意に署名し、今後数ヶ月間において、同ワクチンを受領する予定である」と謝意を表した。

（３）「地域的感染段階（Fase de Transmision comunitaria）」への引き上げ

２９日、新型コロナウイルス対策会合が開催され、最近の新型コロナウイルス感染拡大状況に鑑み、ハバナを含むキューバ全土を「地域的感染段階（Fase de Transmision comunitaria）」に引き上げることが決定された。この段階への引き上げが行われるのは、キューバにおいて新型コロナウイルス感染が発生してから初めて。